AudioComm®

取扱説明書

メモリー機能付カセットレコーダー

型番： CAS-R501E

このたびは、AudioComm®メモリー機能付カセットレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**“この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください。”** また、お読みになった後も、ご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

修理に関するご相談は **修理ご相談センター**へ

電話受付 048-992-3970 平日 9：00〜17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ

●通話料無料 0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735

電話受付 平日 9：00〜17：30 土曜 9：00〜17：00
※日曜・祝日及び年末年始は除きます

07-7619B

目 次

免責事項　下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
●本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
●本製品のために費やした時間および経費
●本製品を運用した結果もたらされた損害
●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果および利益の損失
●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は感電注意が描かれています。）
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止が描かれています。）
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。（左図の場合は、ACアダプターをコンセントから抜く、が描かれています。）

⚠ 警告

使用禁止

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する
●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。

使用禁止

万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する
●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
●販売店にご連絡ください。

禁止

分解、修理、改造しない
●火災・感電の原因となります。

禁止

台所や浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない
●火災や感電のおそれがあります。

乾電池に注意

乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する
●乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。

禁止

車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない
●交通事故の原因になります。
●歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。

禁止

ACアダプター（別売）使用時

指定以外のACアダプターを使わない。特に海外では絶対に使わない
●異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

ACアダプター（別売）使用時

本機やACアダプターを布団などで覆わない
●熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

接触禁止

ACアダプター（別売）使用時

雷が鳴りだしたら、本機やACアダプターに触れない
●感電の原因になります。

濡れ手禁止

ACアダプター（別売）使用時

本機やACアダプターを濡れた手で操作しない
●感電の原因になります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない
●落下による故障やけがの原因となることがあります。

禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
●故障の原因となることがあります。

次ページへ続く

⚠ 注意

禁止	**湿気やほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。	正しく入れる	**乾電池を挿入するときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる** ●間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	**落としたり、重いものを載せたりしない。また、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない** ●本機の故障や破損の原因になることがあります。	禁止	**指定以外の乾電池は使用しない** ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	**はじめからボリュームを上げすぎない** ●突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。	乾電池を取り外す	**長時間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す** ●火災・液もれの原因となることがあります。
禁止	**長時間、大音量で聴き続けない** ●周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。	禁止	**電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニター等)に近づけない** ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

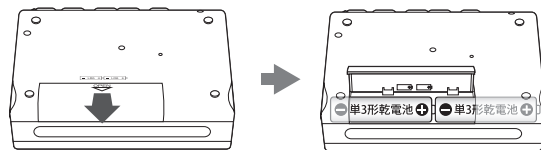
警告	●火中への投入、加熱、分解をしない ●乾電池を幼児に触らせない ●ショートさせない ●新しい乾電池と使用した乾電池、種類の異なる乾電池(マンガンとアルカリ)を混ぜて使わない	注意	●⊕⊖の表示通りに入れる ●指定以外の乾電池を使わない ●使い切った乾電池はすぐに取り出す ●しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一お子様が乾電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
●万一もれた液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。失明の原因となります。
●使用済みの電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

乾電池の入れかた

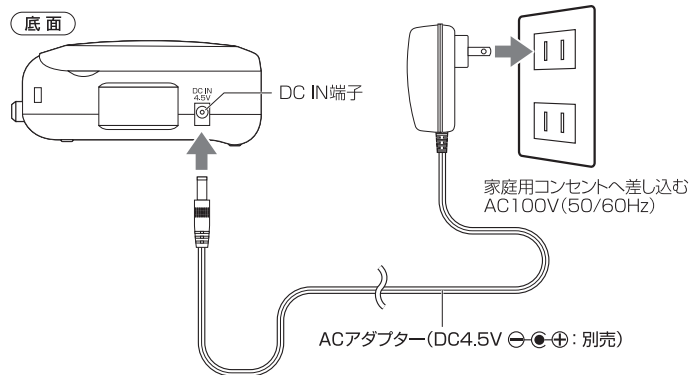
❶ 本機裏側の電池ぶたを矢印の方向にスライドさせた後、持ち上げて開けます(下図参照)。

❷ 本体記載の図柄を参照し、単3形乾電池2本(別売)を⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れます。

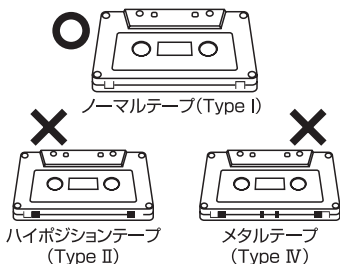
❸ 乾電池を入れ終えたら、電池ぶたを元通りにしっかりと閉めてください。

スライドさせたあと持ち上げて開ける　　単3形乾電池×2本(別売)

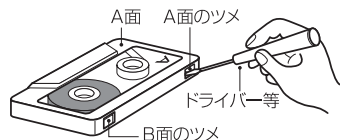
 乾電池交換の目安：乾電池が消耗すると、テープ走行やIC再生／録音動作が不安定になったり、雑音が多くなったりします。このような状態になったら、乾電池を新しいものと交換してください。

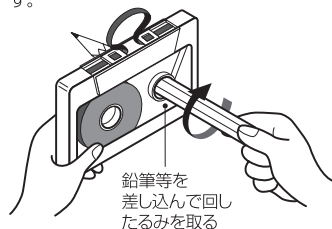
外部電源で使用するときは

ACアダプター(DC4.5V ⊖-◐-⊕：別売)を、本機底部のDC IN端子と家庭用コンセントに接続します。
DC IN端子に接続すると、乾電池が入っている場合でもACアダプターからの電源供給に切り換わります。

カセットテープについて

使用できるテープの種類

ノーマルテープ(TYPEI)をお使いください。ハイポジションテープ(TYPEII)やメタルテープ(TYPEIV)には対応しておりませんし、ご使用になると録音・再生ヘッドを傷める原因となります。またノーマルテープの場合でも、C-90以上の長時間テープは通常のカセットテープに比べてテープそのものが非常に薄いため、伸びたり、回転部分に巻き込まれる等のトラブルの原因となりますので使用しないでください。
エンドレステープには対応しておりません。

録音した内容を誤って消去しないために

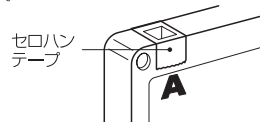
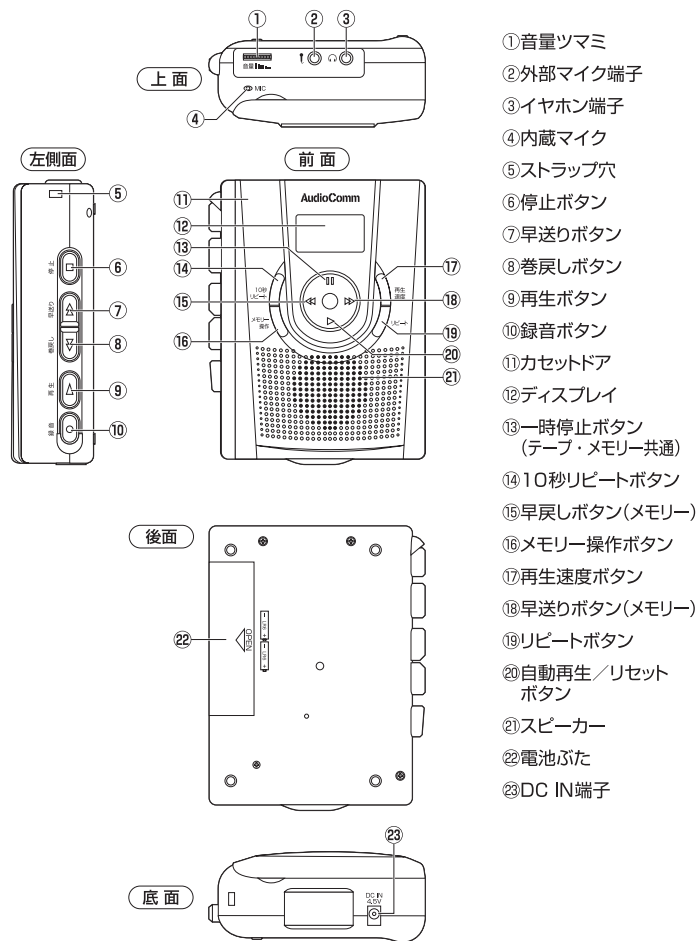
カセットテープの背面にある誤録音防止用のツメをドライバー等で折ります。

カセットテープのたるみについて

ご使用の前に、テープのたるみを取り除いてください。たるんだ状態で使用すると、テープが機械に巻き込まれ、使えなくなることがあります。

- ●テープ両端のリード部分(透明部)は録音できません。セットする前に送っておいてください。
- ●カセットテープを入れたまま放置するとからみや巻きつきの原因となります。必ず本機から取り出して保管してください。
- ●テープの損傷を避けるため、大事なテープやオリジナルテープはダビングし、ダビングしたテープを本機でお使いください。

ツメを折ったカセットテープにもう一度録音するには

ツメを折った穴をセロハンテープ等でふさぎます。

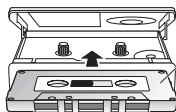
各部の名称

①音量ツマミ
②外部マイク端子
③イヤホン端子
④内蔵マイク
⑤ストラップ穴
⑥停止ボタン
⑦早送りボタン
⑧巻戻しボタン
⑨再生ボタン
⑩録音ボタン
⑪カセットドア
⑫ディスプレイ
⑬一時停止ボタン
(テープ・メモリー共通)
⑭10秒リピートボタン
⑮早戻しボタン(メモリー)
⑯メモリー操作ボタン
⑰再生速度ボタン
⑱早送りボタン(メモリー)
⑲リピートボタン
⑳自動再生／リセット
ボタン
㉑スピーカー
㉒電池ぶた
㉓DC IN端子

カセットテープの基本操作

カセットテープの入れかた

❶ カセットドアを手で開けます。

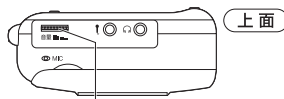
❷ 再生面を上（カセットドア側）に、テープの見える面を手前（ボタン側）にしてセットします。

❸ カセットドアを手で閉めます。

再生面を上（カセットドア側）に、テープの見える面を手前（ボタン側）にしてセット

再生時のボタン操作

※本機での再生／録音はモノラルです

再生するときは事前に音量ツマミで音量を絞ってから操作してください。突然大きな音が出て聴覚に悪い影響を与えるおそれがあります。

上 面

音量ツマミ…再生前は音量を絞り、再生開始後に適正な音量に調節してください。

左側面

停止ボタン…各動作を停止します。

早送りボタン…押し込むとテープを早送りします。

巻戻しボタン…押し込むとテープを巻戻します。

再生ボタン…押し込むとテープの再生を開始します。

前 面

[テープアイコン] は再生音がテープの音声であることを示しています。

経過時間表示…再生中は再生開始からの時間を秒単位で表示します。また、早送り・巻戻し・録音中の場合は、各ボタン操作開始からの経過時間を秒単位で表示します（最長約 240 秒で表示は停止します）。

一時停止ボタン…再生を一時停止します。もう一度押すと再開します（テープ再生の場合は経過時間表示を 000 にリセットします）。

自動再生／リセットボタン…経過時間表示を 000 にリセットします。メモリー再生時は再生を停止し、通常のテープ再生に戻します。

ご注意

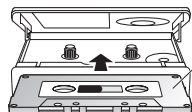
●再生・早送り・巻戻し・録音の各操作を止めるときは、必ず停止ボタンで操作してください。各動作中に停止ボタン以外のボタンを操作すると、故障の原因となることがあります。

●早送り、巻戻し時に停止ボタンで動作を停止させないと、経過時間表示は進み続けますのでご注意ください。

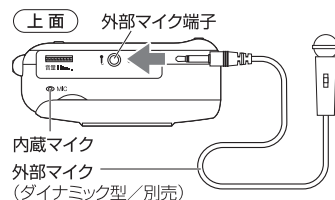
●**セミオートストップ機能について**　再生／録音時にテープが最後まで行くと、自動的に操作ボタンが上がり動作を終了します。ただし、早送り／巻戻しでは自動的に動作を終了しません。故障の原因となることがありますので、早送り／巻戻し時は、必ず停止ボタンで動作を終了させてください。

カセットテープへの録音のしかた

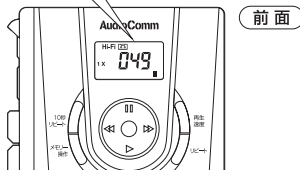
録音前の準備

❶ 右図を参照してカセットテープを入れます。
※カセットテープ両端のリード部分（透明部）は録音されません。あらかじめ送っておいてください。

録音面を上（カセットドア側）に、テープの見える面を手前（ボタン側）にしてセット

❷ ●内蔵マイクで録音するときは、本機上面の内蔵マイクを音源に向けてセッティングしてください。
●外部マイク（ダイナミック型／別売）を使って録音するときは、本機上面の外部マイク端子にマイクのプラグ（φ3.5mmミニプラグ）を接続し、音源に向けてセッティングしてください。

録音の操作

経過時間表示…録音中は録音開始からの時間が秒単位で表示されます。

❶ 録音ボタンと再生ボタンを同時に押すと、録音が始まります。

❷ 録音を終えるときは停止ボタンを押します。

ヒント

●録音レベルは自動で調節されますので、音量ツマミを操作しても影響はありません。

●大切な録音をするときは事前に試し録音をして、適正に録音されるかテストすることをおすすめします。

●**テープの録音を消去するには：**録音されたテープの上から新たな録音をすると、前の録音は消去されます。

メモリーを使った再生／録音

本機では内蔵されているメモリーを使って、
- ●好きな音楽の一部分を繰り返し聴く
- ●語学などのテープレッスンで、先生の声（カセットテープ）に続いて自分の声を録音する
- ●カセットテープの音とメモリーに録音した音を聴き比べる（例えば英語レッスンの先生の声と自分の発音の聴き比べなど）
- ●メモリーに録音された音をゆっくり（速く）聴く

などができます。
以降の各説明をよくお読みの上、お好みの再生／録音をお楽しみください。

●メモリーの再生／録音は、カセットテープの再生ボタンが押し込まれた状態でのみ機能します（停止ボタンを押したときは、メモリーへの記録内容が破棄されます）。
●メモリーに録音された音は、音質がテープ再生時と多少異なります。

手動モードと自動モードについて

本機のメモリー再生／録音機能には手動モードと自動モードがあります。

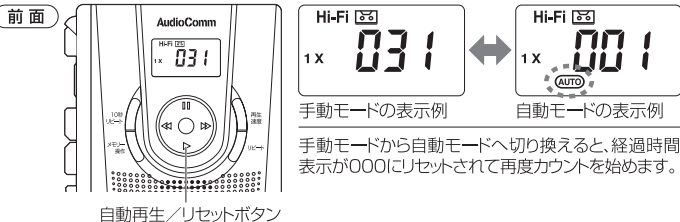
手動モード…メモリー録音／再生をご自身で操作できます。
自動モード…カセットテープに録音された内容によってリピートの区切り目などを自動判別します。自動モード時はディスプレイに「AUTO」が表示されます。

- ●手動モードと自動モードは、テープ再生中に自動再生／リセットボタンを長押しすることで切り換えることができます。
- ●手動モードから自動モードに切り換ると、そのままリピート再生（P.11～12参照）になります。
- ●手動モードと自動モードで動作や操作方法が異なる機能もあります。詳細は各解説ページをご確認ください。
- ●カセットテープの停止ボタンを押した場合、再生再開時には手動モードになります。

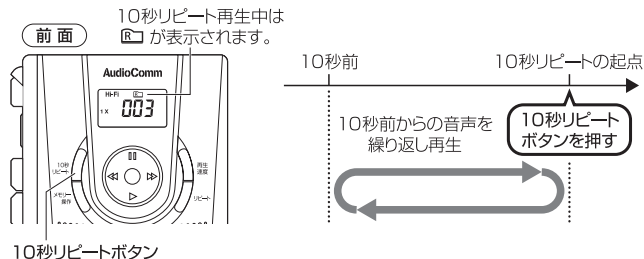
前 面

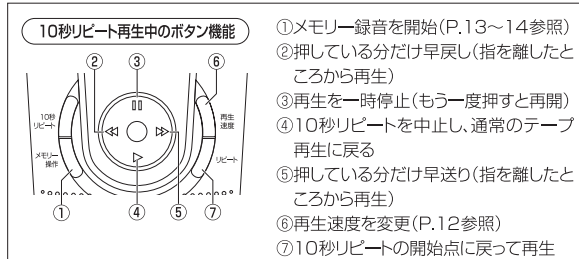
自動再生／リセットボタン

手動モードの表示例　　自動モードの表示例

手動モードから自動モードへ切り換えると、経過時間表示が000にリセットされて再度カウントを始めます。

ご注意　自動モードでは、リピートの区切り目などを本機が自動判別するため、テープに録音された内容やその録音状態などにより、意図した通りの再生にならない場合があります。状況に応じて手動モードでご使用ください。

10秒リピート　手動モードのみ

手動モードでテープ再生中に10秒リピートボタンを押すと、直前10秒間の音声を繰り返し再生します。
※10秒リピート中は、カウンターが000～010を繰り返し表示しますが、これは10秒リピートでの経過時間であり、再生位置とは関係ありません。

ヒント
●**テープ再生開始から10秒以内で10秒リピートボタンを押したときは：**その秒数分だけリピート再生します。
●**10秒リピートを解除するには：**自動再生／リセットボタンを押してください。通常のテープ再生に戻ります（ディスプレイの R が ▭ に変わります）。

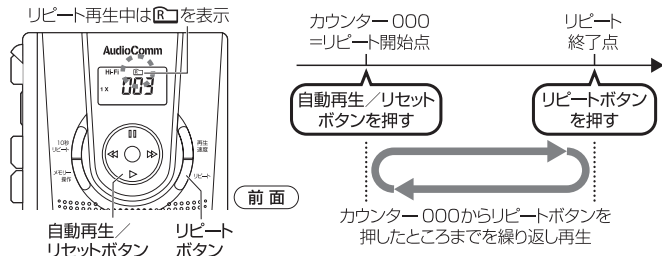
10秒リピート再生中のボタン機能

①メモリー録音を開始（P.13～14参照）
②押している分だけ早戻し（指を離したところから再生）
③再生を一時停止（もう一度押すと再開）
④10秒リピートを中止し、通常のテープ再生に戻る
⑤押している分だけ早送り（指を離したところから再生）
⑥再生速度を変更（P.12参照）
⑦10秒リピートの開始点に戻って再生

ご注意　自動モードでは10秒リピートは機能しません。自動モードで10秒リピートボタンを押すとメモリー録音（P.13～14参照）になります。

リピート

手動モード　自動モード

手動モードでは テープ再生中にリピートボタンを押すと、カウンター 000の位置からボタンを押したところまでを繰り返し再生します。最長約240秒前までさかのぼってリピート再生が可能です。

●**任意の区間をリピート再生したいときは：**リピート開始点で自動再生／リセットボタンを押してカウンターを000にリセットし、リピート終了点に来たらリピートボタンを押してください。

自動モードでは ●手動モードから自動モードに切り換えたときから、リピート機能が有効になります。

●再生中のテープ内容からリピート開始点とリピート終了点を自動判別し、3回リピートします。リピート終了後は通常のテープ再生に戻りますが、その後も自動判別→3回リピートを繰り返していきます。

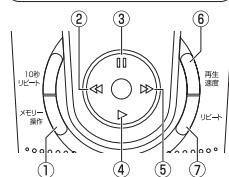
※音の途切れが判別できない場合は、リピートボタンを押すことで区切りを指定することができます。その場合はカウンター 000からリピートボタンを押したところまでを3回繰り返した後、通常のテープ再生に戻ります（その後もテープ音声を自動的に判別し、3回リピートを繰り返していきます）。

ご注意 自動モードでは、リピートの区切り目を本機が自動判別するため、意図した通りのリピート再生にならない場合があります。状況に応じて手動モードでご使用ください。

ヒント ●**手動モードによるリピート再生を解除するには：**自動再生／リセットボタンを押してください。通常のテープ再生に戻ります。

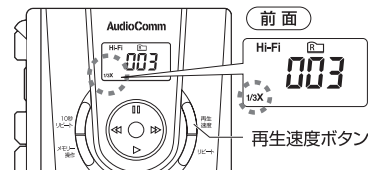
●**自動モードによるリピート再生を解除するには：**自動再生／リセットボタンを長押しして手動モードにしてください。それでもリピートが続く場合は、もう一度自動再生／リセットボタンを短く押してください。

※いずれの場合も、ディスプレイの [R] が [oo] に変わります。

リピート再生中のボタン機能

①メモリー録音を開始（P.13～14参照）
②押している分だけ早戻し（指を離したところから再生）
③再生を一時停止（もう一度押すと再開）
④リピート再生を中止し、通常のテープ再生に戻る
⑤押している分だけ早送り（指を離したところから再生）
⑥再生速度を変更（下記参照）
⑦リピート開始点（000）に戻って再生

再生速度ボタン

手動モード　自動モード

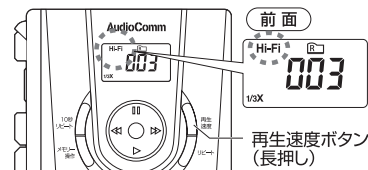
メモリー再生の再生速度を調節できます。1Xからボタンを押すたびに、1/2X、1/3X、3X、2Xと変化します。

再生速度倍率表

表示	倍率
1X	1倍
1/2X	約0.8倍
1/3X	約0.45倍
3X	約1.7倍
2X	約1.25倍

ヒント リピートまたは10秒リピート中に再生速度ボタンを長押しすると、テープ再生に戻ります。音質も通常音質⇆高音質（Hi-Fi）に変わります。

音質の切り換え

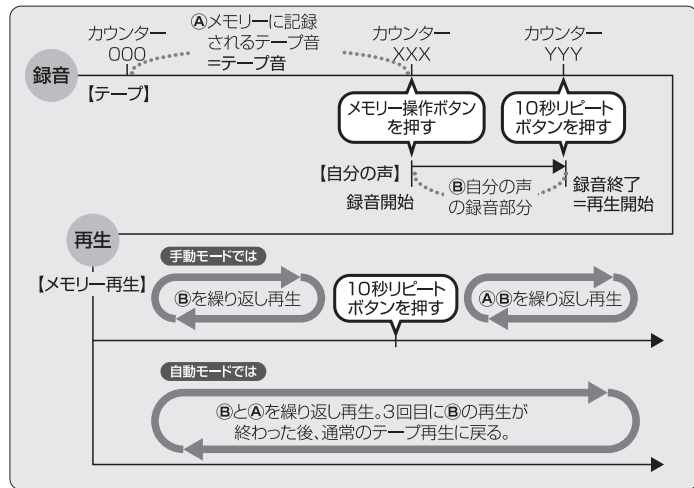
手動モード　自動モード

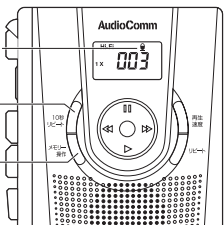
メモリー再生中に再生速度ボタンを長押しすると、通常音質と高音質（ディスプレイにHi-Fiと表示）を切り換えることができます。

ご注意
通常のテープ再生中でも、再生速度ボタンを長押しするとHi-Fiの表示／非表示が切り換わりますが、テープ再生そのものの音質は変わりません。

メモリーを使った再生／録音（つづき）

メモリー録音 手動モード 自動モード

メモリー操作ボタンを使うと、自分の声をメモリーに録音してテープと聴き比べることができます。英語の発音を確認したり、フレーズごとに歌の練習をしたいときなどに便利です。
外部マイクを使用するときは、P.8を参照して事前に外部マイクを接続してください。

ご注意 自動モードにすると、自動でリピート機能(P.11〜12)が有効になり、リピートの区切り目を本機が自動判別するため、意図した通りのメモリー録音ができない場合があります。状況に応じて手動モードでご使用ください。

❶ テープ再生中にメモリー操作ボタンを押します**=自分の声の録音開始**
メモリー操作ボタンを押すと、ディスプレイに🎤が表示されます。

❷ 内蔵マイクまたは外部マイクに向かって自分の声を吹き込んだあと、10秒リピートボタンを押します**=録音終了**
自動でステップ❸の再生が始まります。

❸ 聴き比べ再生に入り、最初にステップ❶〜❷で録音した自分の声の再生が始まります。

手動モードでは
自分の声を繰り返し再生します。もう一度10秒リピートボタンを押すと、自分の声とメモリーに記録されたテープ音を交互に再生します。

自動モードでは
テープ音と自分の声を交互に再生し、3回目に自分の声の再生が終わった後、通常のテープ再生に戻ります。

Hi-Fi 1X 003

聴き比べ再生中は↻が表示されます。

ヒント
●**再生範囲(フレーズや小節など)を指定して聴き比べをするには**：手動モードにて、ステップ❶の操作の前に、聴き比べを始めたいところにテープが来たら自動再生／リセットボタンを押してカウンターを000にします。その後、聴き比べ終了点に来たら、メモリー操作ボタンを押してください(000からメモリー操作ボタンを押したところまでが聴き比べの元となるテープ音として記録されます)。

●**メモリー録音の可能時間について**
手動モードでは…メモリーの最大容量まで録音できます(最長約256秒)。
自動モードでは…カウンター 000から録音開始点(ステップ❶でメモリー操作ボタンを押したところ)までの秒数+1秒の長さまで録音できます。
※自動モードで自分の声を吹き込んでいるときに録音可能時間を超えると、通常のテープ再生に戻ります(このときカウンターも000にリセットされます)。その場合は、もう一度、ステップ❶からやり直し、録音可能時間以内で10秒リピートボタンを押してください。

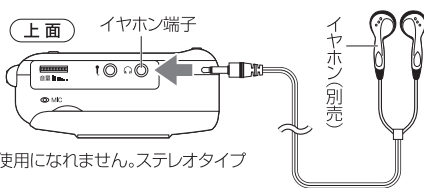
●**ステップ❸の聴き比べ中にリピートボタンを押すと**：テープ音のみのリピートモードになります。その後、10秒リピートボタンを押すと、聴き比べ再生に戻ります。

●**聴き比べ中にメモリー操作ボタンを押すと**：自分の声を録音し直すことができます。その後の操作はステップ❷以降と同じです。

●**聴き比べを終えるには**：自動再生／リセットボタンを押します(通常のテープ再生に戻ります)。

ご注意 ●聴き比べ再生中は早送りボタン、早戻しボタンは機能しません。

イヤホンで聴くときは

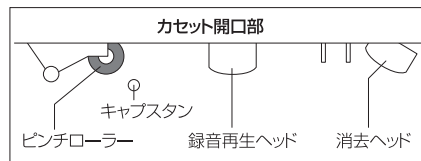
イヤホンのプラグ(φ3.5mmミニプラグ)を、上面のイヤホン端子に接続します。接続するとスピーカーからの音は出力されなくなります。

※モノラルタイプのプラグはご使用になれません。ステレオタイプのプラグをご使用ください。

お手入れのしかた

ヘッド部の清掃について

ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーは長い間使っていると磁粉やゴミ、ほこりなどが付着して汚れてきます。汚れがひどくなると、音質が悪い、音が小さい、録音できない、前の音が消えないで残る、などの症状が出ます。定期的にヘッド部を清掃してください。

ヘッド部の清掃方法

カセットドアを開け、別売のクリーニングキッドでヘッドやピンチローラー、キャプスタンなどの汚れを拭き取ります。なお、内部についたクリーナー液が十分に乾いてからテープをセットしてください。

ヒントとご注意

●ヘッドの消磁を行うには市販の消磁器をお使いください。カセットタイプの消磁器をお使いになるときは、必ず再生ボタンのみを押し込んで消磁してください。詳しくはヘッド消磁器の説明書をご覧ください。
●本機の消去ヘッドはマグネットタイプになっていますので消磁しないでください。

キャビネットの清掃

●キャビネットや操作ボタンなどが汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。
●**シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。**
変質したり、塗料がはげることがあります。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

故障かなと思ったら

本機の調子がおかしいときは、サービスをご依頼になる前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターにご連絡ください。

症 状	チェック項目
動作しない	●乾電池が正しく入っていますか。 ●乾電池が消耗していませんか。 ●(ACアダプター使用時)ACアダプターがはずれて(ゆるんで)いませんか。
音が出ない	●音量が最小になっていませんか。 ●イヤホン端子にイヤホンが差し込まれていませんか。
カセットドアが閉まらない	●カセットが逆向きではありませんか。
テープ走行が不安定 テープが走行しない	●テープがたるんでいませんか。 ●乾電池が消耗していませんか。
テープが機械に巻きつく	●ピンチローラーやキャプスタンが汚れていませんか。 ●テープがたるんでいませんか。 ●カセットドアがきちんと閉まっていますか。
録音ボタンが押せない	●録音しようとするカセットの誤消去防止用のツメが折れていませんか。 ●カセットドアがきちんと閉まっていますか。 ●カセットが入っていますか。
前の録音を完全に消去できない 録音した音がひずむ	●ハイポジション(TypeⅡ)やメタルポジションテープ(TypeⅣ)を使っていませんか。 ●消去ヘッドが汚れていませんか。
雑音がひどい、音が震える 音飛びがする、 高音が出ない	●ヘッドやピンチローラー、キャプスタンが汚れていませんか。 ●テープがたるんでいませんか。 ●乾電池が消耗していませんか。
テープへの録音ができない	●ヘッドが汚れていませんか。 ●録音防止用のツメが折れていませんか。
録音した音が小さい	●音源と本機が離れていませんか。自分の声を録音するときはマイクに向かって話してください。

次ページに続く

故障かなと思ったら（つづき）

症 状	チェック項目
メモリーの録音／再生が意図通りに機能しない	●乾電池が消耗していませんか。 ●メモリー録音後の再生中に複数のボタンを続けて押しませんでしたか（メモリー録音後に10秒リピートボタンやメモリー操作ボタン、リピートボタンなどを続けて押すと、メモリー録音の可能時間が短くなったり、意図しない再生が始まることがあります）。 ●上記のような現象が起こった場合は、停止ボタンを押した後、乾電池を出し入れして、再度操作してみてください。 ●自動モードでご使用の場合は、自動でテープ音声の区切り目を本機が自動判別するため、意図した通りの録音／再生ができない場合があります。状況に応じて手動モードでご使用ください。

主な仕様

電源	DC 3V（単3形乾電池×2本／別売）
	外部電源　DC4.5V　500mA（ACアダプター／別売）
実用最大出力	0.15W
出力端子	φ3.5mmモノラル出力　※1
入力端子	φ3.5mmマイク端子&内蔵マイクモノラル入力
スピーカー	口径3.5cm×1（インピーダンス4Ω）
電池持続時間※2	再生時　　約5時間（スピーカー使用時）
	録音時　　約9時間
外形寸法	幅90×高さ115×奥行35mm
質量	約170g（乾電池含まず）
付属品	取扱説明書、保証書

※1　出力端子への接続にはモノラルタイプのプラグはご使用になれません。ステレオタイプのプラグをご使用ください。

※2　電池持続時間は、アルカリ乾電池使用（音量：中程度）の場合の目安です。乾電池の種類や使用状況によって異なります。

※本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※本取扱説明書で使用するイラストは、実際の機種と一部外観が異なっている場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。